

つながる元気 ひろがる協働

名古屋新世紀計画2010第3次実施計画を策定しました。

名古屋開府400年にあたる2010年に向けて、名古屋新世紀計画2010の総仕上げとなる「名古屋新世紀計画2010第3次実施計画」を策定しました。

今、名古屋は大変元気だといわれています。この元気さは、大幅なごみ減量を名古屋市民と市が協働で達成した経験や、愛・地球博の成功を支えたおもてなしの心など、名古屋市民の底力がベースになっていると感じています。いまや、名古屋は環境と交流の時代の21世紀をリードしていくのにふさわしい魅力ある都市になりつつあると思います。

そういった元気さや生活における安心を市民が本当に実感できると同時に、次世代が伸びやかに育ち、50年後、100年後にも評価される新しい時代の名古屋を創っていききたい。そのような思いから、第3次実施計画では、「つながる元気 ひろがる協働」を計画目標として掲げ、「環境」「交流・産業」「安心・安全」「ひと・未来」を重点テーマとして、今後4年間に取り組む具体的な施策・事業をお示しました。

名古屋が今後も元気なまちでありつづけるため、市民の皆さまとの協働によって、この計画を着実に推進してまいりたいと思います。



名古屋市長 松原 武久



第3次実施計画とは

平成19年度から平成22年度までの4か年に名古屋市が取り組む施策の目標や主な事業についてまとめたものです。

第3次実施計画の目標・重点テーマ

これまで市民の皆さまと築き上げてきた名古屋のまちづくりの実績を基盤としつつ、名古屋を取り巻く課題をふまえ、「つながる元気 ひろがる協働」を目標としました。

お問い合わせ

名古屋市総務局企画部企画課
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
TEL(052)-972-2205 FAX(052)972-4418
E-mail kikaku2010@somu.city.nagoya.lg.jp

市民と市の底力で実行!!

- 愛・地球博の成功
- なごやの活力の持続
- ごみ減量の成功
- 開府400年に向けた取り組み
- 安心・安全で快適なまちづくりの取り組み

【第3次実施計画の目標】

つながる元気 ひろがる協働

重点テーマ



環境

環境首都なごやの実現



交流・産業

千客万来のまち



安心・安全

災害に強く、はつらつとして暮らせるまち



ひと・未来

子育てするなら名古屋で

環境：環境首都なごやの実現



市民の皆さまの努力でごみ減量に成功した名古屋の底力をさらに発展させ、CO₂の削減に取り組み、世界に誇れる「環境首都なごや」をめざします。そのために、市民の皆さまと、環境にやさしいライフスタイルの確立、身近な自然の保全と創出、環境にやさしく人にもやさしい都市の形成などの取り組みをすすめます。

主な計画事業

環境にやさしいライフスタイルの確立



環境首都なごやを支える人づくり・人の輪づくり(なごや環境大学の推進)



循環型社会対応住宅の整備(志段味地区)

身近な自然の保全と創出



堀川の総合整備



(生物多様性条約第8回締約国会議の様子)
地球環境保全のための国際貢献(生物多様性条約第10回締約国会議の誘致・開催)



容器包装削減運動の促進(エコクーじの実施)



農のある暮らしづくり



東山動植物園の再生

環境にやさしく人にもやさしい都市の形成



地下鉄の整備(桜通線 野並～徳重)



なごや交通戦略の推進
(公共交通エコポイントの普及)



対策前
対策後
自転車駐車対策の推進

つながる元気 ひろがる協働

第3次実施計画では、78の施策と110の数値目標を設定し、440事業を掲載しています。ここでは、事業のいくつかをイメージとして紹介しています。
第3次実施計画は、各区役所、支所、図書館および市民情報センターで閲覧できます。

また、名古屋市ホームページ
(www.city.nagoya.jp/shisei/sougou/shinseiki/)
でもご覧いただけます。

主な計画事業

武家文化・ものづくり文化など名古屋の個性の発信



名古屋城本丸御殿の復元(イメージ図)



モノづくり文化交流拠点構想の推進
(検討対象地:金城埠頭)



なごや観光ルートバスの運行

交流基盤としての道路網の整備



名古屋環状2号線の整備促進

芸術文化を育む環境づくり



文化交流活動の推進(ナゴヤ・マーチング&パト・ウェブの開催)



科学館(理工館・天文館)の改築(イメージ図)

活力に満ちた産業の育成



なごやサイエンスパークの建設推進

新たな拠点の形成による活力の向上



民間再開発等による市街地整備の促進
(名古屋駅周辺)

安心・安全：災害に強く、はつらつとして暮らせるまち



高齢化が進行するなか、高齢者がいきいきと生活できるまちをめざすとともに、障害者が自立して生活できるまちをめざします。また、地震や水害などの災害に備えたまちづくり、引ったくり・落書きなどの犯罪がおきないまちづくりをすすめます。それらの基盤となる取り組みとして、自助・共助・公助が調和した地域づくりをめざします。

主な計画事業

高齢者や障害者のいきいきとした生活の実現



公共交通機関におけるバリアフリー化の推進
(サービス介助士の活動)



(ノンステップバス)

健康な生活の支援



クオリティライフ21城北の推進



食育の推進

防犯対策などへの取り組み



介護予防の推進



地域ぐるみの学校安全対策(スクールガードリーダー)



安心・安全で快適なまちづくりの推進

災害に強いまちづくり



災害用備蓄飲料水「名水」の販売



総合防災情報システムの更新



緊急雨水整備事業の推進

交流・産業：千客万来のまち



「近世武家文化」や「ものづくり」など名古屋ならではの都市の個性や魅力を向上させる取り組みをすすめるとともに、文化交流活動をすすめて、国内外に情報発信します。また、新たな交流の拠点や基盤を整備するとともに、企業の集積、産業の高度化をはかります。それらの取り組みによって、観光や産業の活性化など、交流と活力の創出をめざします。

主な計画事業

武家文化・ものづくり文化など名古屋の個性の発信



名古屋城本丸御殿の復元(イメージ図)



モノづくり文化交流拠点構想の推進
(検討対象地:金城埠頭)



なごや観光ルートバスの運行

交流基盤としての道路網の整備



名古屋環状2号線の整備促進

芸術文化を育む環境づくり



文化交流活動の推進(ナゴヤ・マーチング&パト・ウェブの開催)



科学館(理工館・天文館)の改築(イメージ図)

活力に満ちた産業の育成



なごやサイエンスパークの建設推進

新たな拠点の形成による活力の向上



民間再開発等による市街地整備の促進
(名古屋駅周辺)

ひと・未来：子育てするなら名古屋で



名古屋の将来を担う子どもたちが健やかに生まれ育つための次世代育成支援や、名古屋の人材を育成する教育の充実などの取り組みをすすめます。また、すべての市民がいきいきと生活できる人間性豊かなまち・なごやをめざします。

主な計画事業

次世代育成の支援



子ども条例の制定・推進(子ども集会)



いきいきなごやっ子づくり(イメージ)

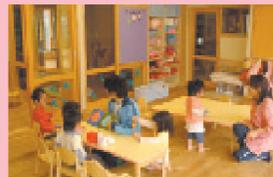
教育の充実



過大規模校の解消(熊の前小学校)



国際理解・英語教育の推進



保育所の整備



青少年交流プラザにおける事業推進

人権の尊重



(啓発ポスター)
なごや人権施策推進プランにもとづく人権施策の推進



女性のチャレンジを支援

千種区

地域別計画

面積:18.24km² 人口:154,984人
世帯数:75,803世帯 人口密度:8,497人/km² (平成18年10月1日現在)



東山スカイタワーと東山の森

区のシンボルマーク



千種の「千」の字を伸
びる木にみたて意匠
化し、太陽と緑に恵ま
れた千種区をイメー
ジさせるものです。



区の花/アジサイ



区の木/ハナミズキ



凡例

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 公園・緑地などの空間 | 地下鉄 |
| 河川・ため池などの水面 | ガイドウェイバスシステム志段味線(ゆとりーとライン) |
| 区役所 | 自動車専用道路 |
| 駅 | 主な道路(事業中を含む) |
| 主な施設 | 主な道路(都市計画決定されている路線) |
| 民営鉄道(JR) | インターチェンジ・出入口(白:入口, 黒:出口) |

※ 場所未定の事業: 図書館の移転改築

: ポイ捨ての防止(美化推進重点区域)

区の魅力づくり

城山・覚王山地区魅力アップ事業

豊かな自然と、貴重な文化資源に恵まれている城山・覚王山地区のさらなる魅力アップをはかるため、地区の特性を生かしたさまざまなイベントを開催するとともに、魅力を情報発信します。

平成19~22年度

- ・「やまのて音楽祭」、「お月見コンサート」、「文化の里「お茶めぐり、まちめぐり」」の開催
- ・まち歩きを楽しんでもらうための情報提供やまちを案内する「み・ちくさ案内人」の普及。また「み・ちくさ物語」(まちづくり提案)によるまちづくりの実現



城山・覚王山地区魅力アップ事業「やまのて音楽祭」

アジサイタウン事業

区の花であるアジサイに広く親しみを持ってもらうため、茶屋ヶ坂公園を拠点にアジサイの育成・普及につとめ、アジサイを通じた人的ネットワークの構築をはかります。

平成19~22年度

- ・アジサイ講習会・アジサイ植樹会の開催
- ・水やりボランティア・アジサイ育成者の人材発掘

文教地域の学習環境づくり

区内の高等学校、大学等と地域、行政との連携強化をはかり、市民の学習機会が増すような環境づくりをすすめます。

平成19~22年度

- ・区内の普段見ることができない場所などを探索する「千の種あかし隊」や、子ども向けまちづくりワークショップの開催
- ・学生、学校によるまちづくり活動への支援

ちくさ自然発見事業

市民に区内の自然にふれあう機会を提供するとともに、貴重な自然を保存するための情報発信につとめます。

平成19~22年度

- ・「ちくさ自然発見隊」の実施、自然に関するCDやパンフレットの発行
- ・なごや東山の森づくりの活動との連携

東区

地域別計画

面積:7.72km² 人口:69,207人
世帯数:34,498世帯 人口密度:8,965人/km² (平成18年10月1日現在)



文化のみち二葉館(旧川上貞奴邸)

区のシンボルマーク



東「EAST」区の「E」をデザイン化したもので、全体の丸みは区民の和と明るい未来を象徴します。



区の花/ボタン



区の木/モクレン



区の魅力づくり

伝統芸能の紹介・継承事業

伝統行事や貴重な文化財にふれることで地域への愛着を深めるとともに、祭りを核として人々の交流の輪を広げ、地域のつながりやきずなを深めます。

平成19~22年度

- 徳川園山車揃えの魅力向上と後継者育成
- 区制100周年記念事業と連携させた地域づくり



徳川園山車揃え

ヤダ・リバーサイド・アメニティづくり

貴重な自然空間である矢田川河川敷を、区民のオアシス、子どもから高齢者まで幅広い世代の交流の場として活用するとともに、川を大切に自然に親しむ活動を促進します。

平成19~22年度

- 子どもから高齢者までが楽しめる区民参画による交流イベントの開催
- ワイルドフラワーの種まき

史跡・町並みネットワーク事業

名古屋の近代化の歩みを伝える歴史的な遺産の宝庫ともいえる名古屋城から徳川園に至る「文化のみち」の魅力さをさらに向上させるとともに、市民と行政が一体となってまちづくりをすすめます。

平成19~22年度

- 名古屋開府400年に向けた「文化のみち」イベントの拡充
- 「文化のみち」内の施設のネットワーク化

北区

地域別計画

面積:17.56km² 人口:166,173人
世帯数:72,535世帯 人口密度:9,463人/km² (平成18年10月1日現在)



矢田川河川噴水

区のシンボルマーク



区名「北」をデザインし、区民の和と協調を表すとともに、雄飛発展する北区の輝く未来を力強くシンボライズしたものです。



区の花/コスモス

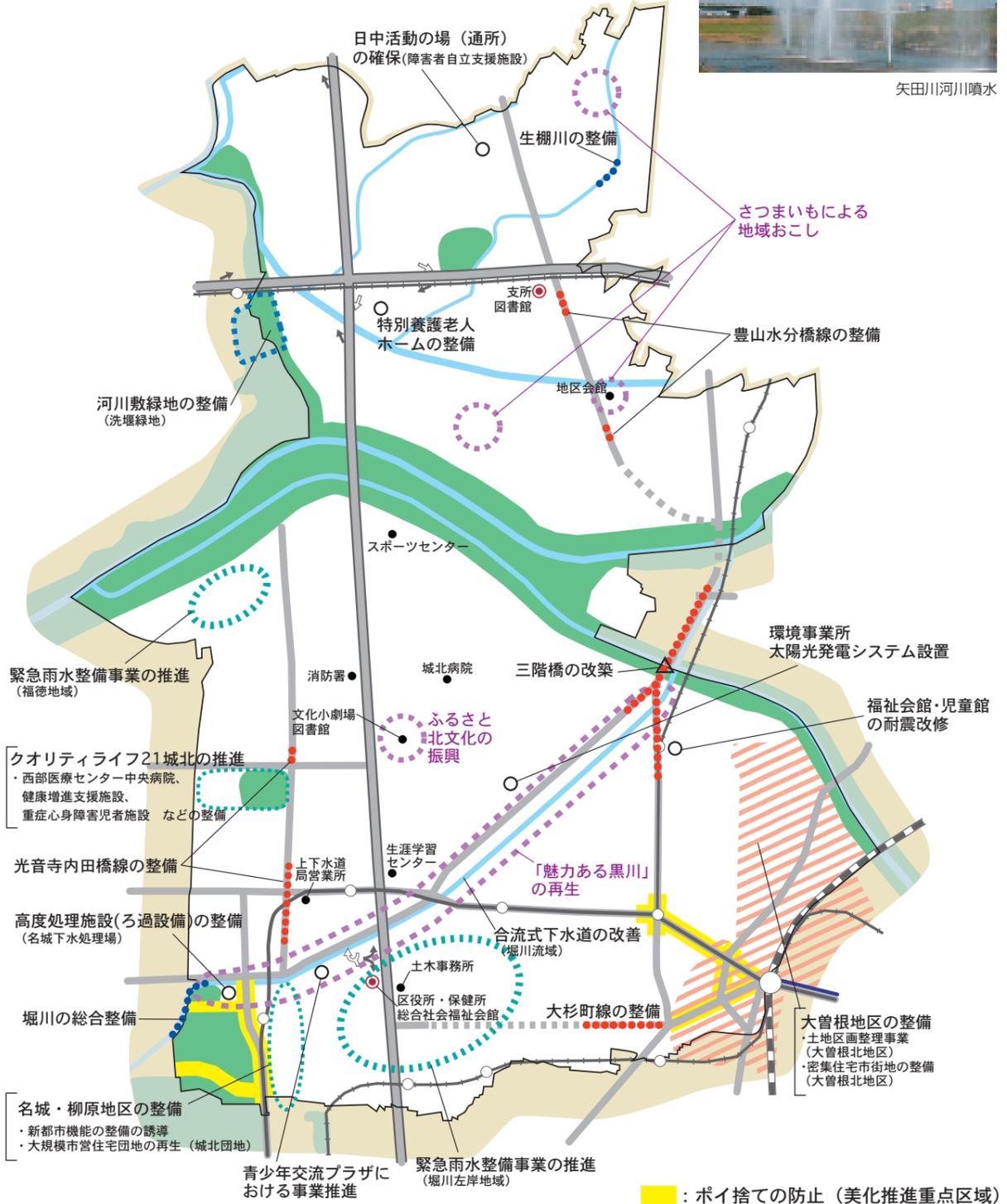


区の木/さくら

※ 場所未定の事業
：在宅サービスセンターの整備推進

凡例

- 公園・緑地などの空間
- 河川・ため池などの水面
- 区役所・支所
- 駅
- 主な施設
- 民営鉄道 (JR)
- 民営鉄道 (JRを除く)
- 地下鉄
- ガイドウェイバスシステム志段味線 (ゆとりーとライン)
- 自動車専用道路
- 主な道路 (事業中を含む)
- 主な道路 (都市計画決定されている路線)
- インターチェンジ・出入口 (白:入口、黒:出口)



■ : ポイ捨ての防止 (美化推進重点区域)

区の魅力づくり

「魅力ある黒川」の再生

黒川を水や自然に親しめる、うるおいを感じられる場所としていくため、地域や小中学校などの協力を得て、各種イベントや清掃活動などを実施し、黒川の魅力を発信します。

平成19~22年度

- ・黒川に生息する生き物をテーマとした環境学習や黒川をテーマにした講座の開催
- ・黒川の魅力を伝えるイベントの開催と情報発信
- ・黒川一斉清掃の開催

さつまいもによる地域おこし

楠地区の名産「味鏡の早生甘藷(わせいも)」の栽培から収穫までの体験事業、加工品づくりや新しい活用方法の研究などを通じて、区民のさつまいもに対する関心と地域への愛着を育むとともに区の魅力を発信し、地域おこしを推進します。

平成19~22年度

- ・栽培収穫体験事業の開催やイベントへの参加
- ・味鏡いもを利用した食品の講習会の実施
- ・味鏡いもに関する情報発信

ふるさと北文化の振興

伝統工芸に関する情報発信・体験講座といったイベントなどを通して、地域に根ざした伝統工芸や文化を生かしたふるさと感あふれるまちづくりをめざします。

平成19~22年度

- ・伝統工芸に関する情報発信
- ・体験講座や伝統工芸品に関するイベントの開催
- ・区内の工房などを活用し、伝統工芸の魅力をPR



黒川友禅流し

西区

地域別計画

面積: 17.90km² 人口: 143,347人
世帯数: 62,763世帯 人口密度: 8,008人/km² (平成18年10月1日現在)



庄内緑地公園

区のシンボルマーク



英語の西=WESTの頭文字Wをデザイン化。丸のつらなりで区民の連帯を象徴し、一丸となって豊かな明日をひらくエネルギーを表現しています。



区の花/さくらそう 区の木/やなぎ



- 凡例
- 公園・緑地などの空間
 - 河川・ため池などの水面
 - 区役所・支所
 - 駅
 - 主な施設
 - 民営鉄道(JR)
 - 民営鉄道(JRを除く)
 - 地下鉄
 - 自動車専用道路(事業中を含む)
 - 主な道路(事業中を含む)
 - インターチェンジ・出入口(白:入口, 黒:出口)

- : ポイ捨ての防止(美化推進重点区域)
- : 公共交通機関におけるバリアフリー化の推進(地下鉄駅)

区の魅力づくり

歴史・産業・文化ふれあい事業

美濃路・円頓寺界隈など古い町並みや伝統的なものづくり産業等が残る南部地区の魅力アップと情報発信の向上につとめます。

平成19~22年度

- ・「ものづくり文化の道」エリア内外の回遊性の強化をはかるマップの作成・情報発信
- ・「ものづくり文化の道」ガイドボランティアによるホスピタリティの向上



ものづくり文化の館 IN円頓寺七まつり

豊かな水辺ふれあい事業

水辺とふれあうことにより、川の持つさまざまな機能を見つめるとともに、人々の川に対する愛着を高めるため、庄内川や堀川などの水辺環境の状況や新たな魅力の情報発信につとめるとともに、川と自然を愛する人たちのネットワーク化をはかります。

平成19~22年度

- ・「健康の道」イベント(水辺ウォーキングなど)の実施・定着化
- ・「健康の道」ホームページの立ち上げなどによる情報発信
- ・堀川に関するなごや環境大学講座の開催
- ・豊かな水辺とふれあうことのできる庄内川右岸・左岸、洗堰緑地、庄内用水の水辺環境の状況や魅力の情報発信

まつりおこし事業

まつりを通してさまざまな世代の人が集うコミュニティの創生をはかるため、情報誌の発行など、人の輪、地域の輪の拡大をはかります。

平成19~22年度

- ・地域のまつりの掘り起こしと活動支援
- ・区のホームページや広報なごや区版におけるまつり情報の発信

中村区

地域別計画

面積:16.32km² 人口:134,340人
世帯数:64,397世帯 人口密度:8,232人/km² (平成18年10月1日現在)



名古屋駅周辺を望む

区のシンボルマーク

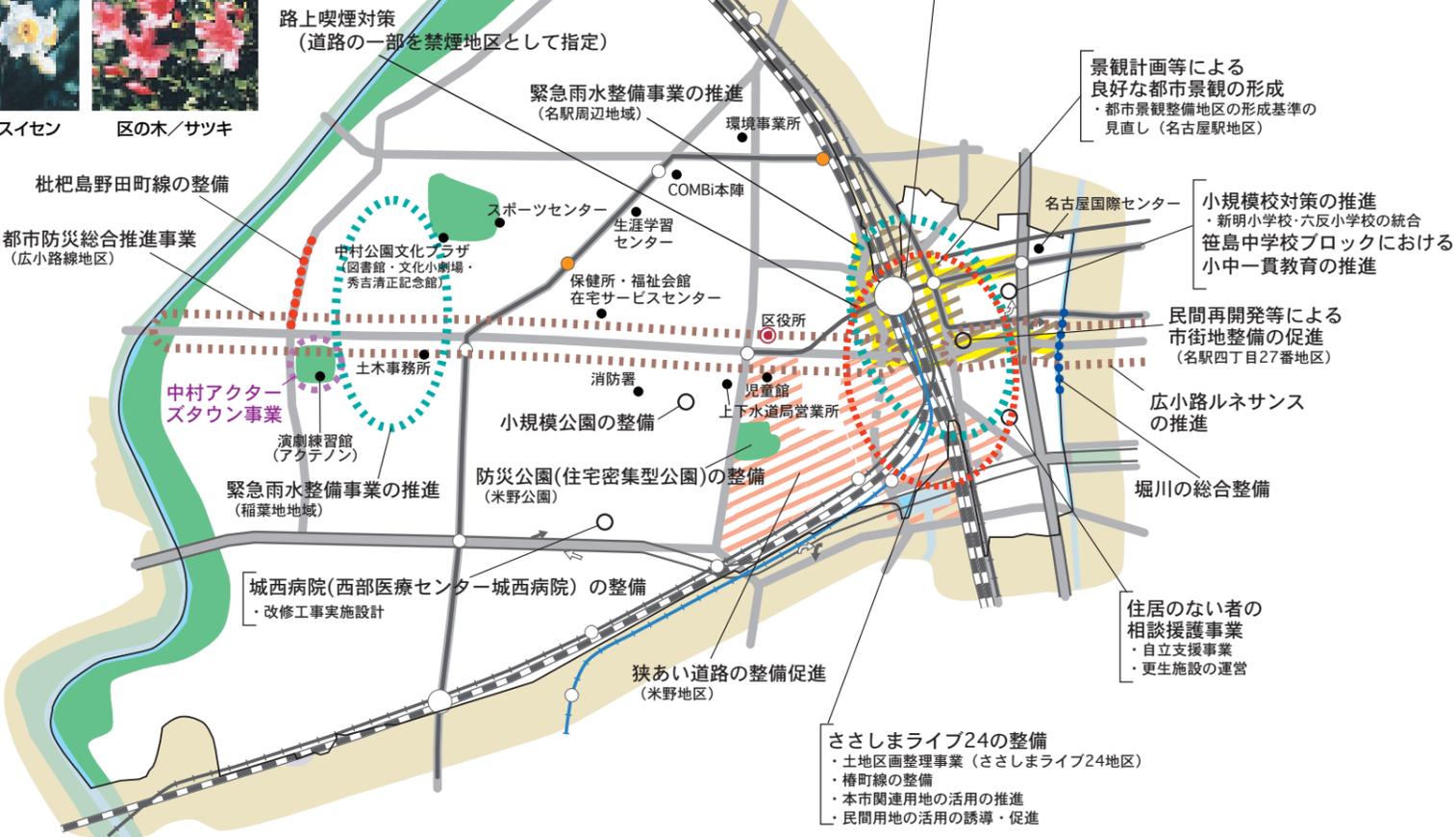


中村区の「中・ム・ラ」をデザイン化したもので、大空に向かって飛び立とうとしている鳥のイメージを表現しています。



区の花/スイセン

区の木/サツキ



凡例

- 公園・緑地などの空間
- 河川・ため池などの水面
- 区役所
- 駅
- 主な施設
- 民営鉄道 (JR)
- 民営鉄道 (JR、あおなみ線を除く)
- あおなみ線
- 地下鉄
- 自動車専用道路
- 主な道路 (事業中を含む)
- 主な道路 (都市計画決定されている路線)
- インターチェンジ・出入口 (白:入口、黒:出口)

黄色い背景: ポイ捨ての防止 (美化推進重点区域)

オレンジ色の丸: 公共交通機関におけるバリアフリー化の推進 (地下鉄駅)

区の魅力づくり

中村アクターズタウン事業

演劇練習館(アクテノン)を、区の誇る文化資源として全市・全国の人々に親しまれるものとするとともに、身近なふれあいの場を設けることで、地域住民による演劇や舞踊など芸術文化活動への支援を推進します。

平成19~22年度

- ・アクテノン利用者を中心とする出演者が、自ら企画・運営するアクテノンフェスティバルの開催
- ・アクテノン参観日をはじめとする、利用者と住民による交流、情報の発信



アクテノンフェスティバル

コミュニティ活動支援事業

活気ある魅力的なまち、誇りと愛着の持てる中村区をつくるために行われている市民、商店街、NPOなどの自主的なプロジェクト活動を支援するとともに、区内の隠れた魅力資源をはじめとした多様な情報を収集・発信し、コミュニティ活動の広がり活性化を支援します。

平成19~22年度

- ・地域住民、商店街、NPOなどの相互連携による活動の実践
- ・市民ボランティアとの協働による区の魅力を発見するまち歩き、環境問題を考える子ども向けまち歩きの実施

おいしいふれあいひろば事業

「おいしいふれあいひろば」として整備されたどんぐりひろばなどに、地域が主体となって実のなる木やハーブなどを植え、管理、収穫などを行うことにより、地域のふれあいを促進します。

平成19~22年度

- ・地域住民によるおいしいふれあいひろばの管理・運営
- ・ひろばで収穫された果実やハーブの活用学習会、意見交換会の開催

中区

地域別計画

面積:9.36km² 人口:71,123人
世帯数:42,058世帯 人口密度:7,599人/km² (平成18年10月1日現在)



名古屋城

区のシンボルマーク



「中」の文字をデザイン化し、飛翔する鳥の姿と縦横に走るストリートイメージを表現したものです。



区の花/パンジー 区の木/いちじょう

- 凡例
- 公園・緑地などの空間
 - 河川・ため池などの水面
 - 市役所・区役所
 - 駅
 - 主な施設
 - 民営鉄道(JR)
 - 民営鉄道(JRを除く)
 - 地下鉄
 - 自動車専用道路(事業中を含む)
 - 主な道路
 - インターチェンジ・出入口(白:入口、黒:出口)

- ポイ捨ての防止(美化推進重点区域)
- 公共交通機関におけるバリアフリー化の推進(地下鉄駅)



区の魅力づくり

「bigスクエア」から始める都心のきらめきづくり

区の新たな魅力を発掘する「きらめきボランティア(都心の魅力発見隊)」により、市民の視点で集めたさまざまなまちの情報を発信し、まちに興味や愛着を持ってもらい、繰り返し訪れたい都心のきらめきづくりを推進します。

平成19~22年度

- 都心の魅力をホームページなどにより発信
- 外国人との共生と交流のまちづくり事業の実施

歩きたくなる都心空間づくり

区民参加で設定した散策コースを活用したイベントの開催や、歩くことが楽しくなるような花で彩られたまちづくりをすすめ、歩きたくなる都心空間づくりを推進します。

平成19~22年度

- 散策コースを活用したイベントの開催
- 御園・花のまちづくり事業の推進

歴史を伝えて、ふれあいづくり

区の歴史や伝統文化、地域にまつわる伝承などを、地域の人から直接聞くことにより、人と人との関わりの中で継承し、理解と愛着を深めます。

平成19~22年度

- 堀川文化を後世に伝える事業の実施
- 生涯学習センター、トワイライトスクールなどを活用した「ふれあいのひろば」の実施
- 旧町名やいきさつなどを記した看板の設置



第9回中区堀川文化歩こう会(若宮八幡社において、市指定有形民俗文化財「福祿寿車」を見学)

昭和区

地域別計画

面積: 10.93km² 人口: 105,035人
世帯数: 51,813世帯 人口密度: 9,610人/km² (平成18年10月1日現在)

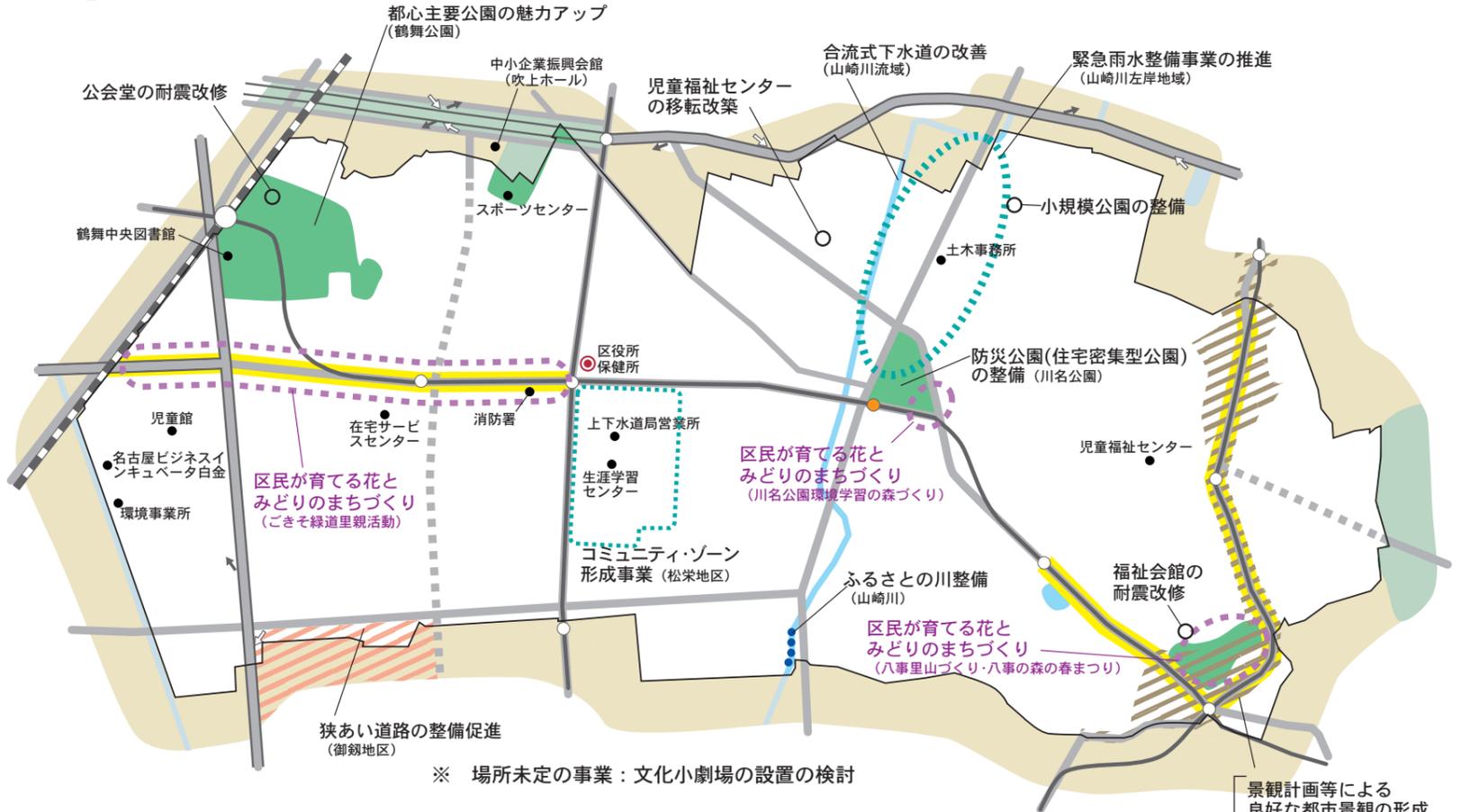


鶴舞公園のパラードと奏楽堂

区のシンボルマーク



昭和区のイニシャル「S」の広がり、区の飛躍、発展を表し、幸運をよぶ四つ葉のクローバーを重ねたデザインです。



※ 場所未定の事業：文化小劇場の設置の検討

● : ポイ捨ての防止 (美化推進重点区域)
● : 公共交通機関におけるバリアフリー化の推進 (地下鉄駅)

景観計画等による良好な都市景観の形成
・都市景観整備地区の形成基準の見直し (四谷・山手通地区)



区の花/ハナショウブ 区の木/ハナミズキ

凡例		
	公園・緑地などの空間	● 主な施設
	河川・ため池などの水面	■ 主な道路
	区役所	■ 主要道路 (都市計画決定されている路線)
	駅	⇄ インターチェンジ・出入口 (白:入口, 黒:出口)
	民営鉄道 (JR)	
	地下鉄 (事業中を含む)	
	自動車専用道路	

区の魅力づくり

いっしょになってすすめる地域の魅力再発見

歩いて楽しいマップづくりで培った区民と協働ですすめる事業手法を生かし、マップの活用のほか、昭和30年代以前の写真の収集などまちの移り変わりをたどりながら、区内の魅力再発見に取り組みます。

平成19~22年度

- ・マップ「The SHOWA」全10巻の配布・PR
- ・マップを活用したウォーキング事業の実施、ガイドボランティア活動への支援
- ・まちの変遷をたどる魅力再発見事業の実施

福祉とふれあいのネットワークづくり

福祉関係施設が多く、区民のボランティア活動も活発なこの地域の風土を区民とともにさらに盛り上げ、誰もが安心して暮らせるまちづくりをめざします。また、学生や区民を主体としたボランティアグループによる調査活動の成果をマップやネットワークづくりに生かすとともに、区民が主体となって行く、世代を超えた集いと交流の場づくりを支援します。

平成19~22年度

- ・障害者、高齢者、子育てしている方など多様な視点から、まちの現状と課題を調査研究
- ・調査活動の成果を生かしたマップづくりとネットワークづくり
- ・世代を超えたふれあいの場づくりへの支援

区民が育てる花とみどりのまちづくり

緑豊かな住環境を守り、心のやすらぎと潤いを生む「花と緑で彩られたまち」をめざして、区民自らの手による花とみどりのまちづくりをすすめます。

平成19~22年度

- ・花壇コンテストなどの実施
- ・「八事里山づくりの会」、「ゆめ緑道ごきそ」などの活動、「八事の森の春まつり」開催への支援
- ・環境学習の森 (川名公園) における森づくり活動への市民参画の仕組みづくり



八事の森の春まつり

瑞穂区

地域別計画

面積: 11.23km² 人口: 105,321人
世帯数: 46,825世帯 人口密度: 9,379人/km² (平成18年10月1日現在)



山崎川の桜(平成18年度「瑞穂のさくら写真展」さくら大賞作品「桜道(さくらみち)」)

区のシンボルマーク



瑞穂のイニシャル「M」を花びらにアレンジし、中央に区内の名所山崎川の清流を組み合わせ、瑞穂区の限りのない発展・躍進を表しています。



区の花/サクラ

区の木/サクラ



凡例

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 公園・緑地などの空間 | 民間鉄道 (JRを除く) |
| 河川・ため池などの水面 | 地下鉄 |
| 区役所 | 自動車専用道路 |
| 駅 | 主な道路 (事業中を含む) |
| 主な施設 | 主な道路 (都市計画決定されている路線) |
| 民間鉄道 (JR) | インターチェンジ・出入口 (白:入口、黒:出口) |

※ 場所未定の事業: 文化小劇場の整備
: 図書館の移転改築

: ポイ捨ての防止 (美化推進重点区域)

: 公共交通機関におけるバリアフリー化の推進 (地下鉄駅)

区の魅力づくり

サクラのまち瑞穂づくり

川とサクラをキーワードに、区民のつながりを深めようと発足した「山崎川さくら塾実行委員会」とともに、写真展や自然観察会などを企画・実施します。

平成19~22年度

- ・瑞穂のさくら写真展の開催
- ・自然観察会の開催
- ・サクラの名木、名所を紹介したサクラマップの作成

瑞穂区ふれあいネットワーク事業

ボランティア活動をしてみたいと思っている人や、誰かに助けてもらいたいと思っている人をつなぐため、地域通貨の取り組みを通じ、地域に住む人同士が支え合い、気軽に交流できるまちづくりをすすめます。

平成19~22年度

- ・商店街などとの連携に向けた取り組み
- ・市民活動グループ「地域通貨みずほの会」会員間におけるサービスの交換
- ・公開講座などの開催

伝統的庶民文化の復活・継承事業

代々受け継がれてきたまつり、道や川などのまちの風景、地域の文化遺産など消えつつある文化に焦点をあて調査や情報収集などを行う過程で発足した「瑞穂うらおいまちづくり会」とともに、まちの魅力・資源を見つけ次世代へ継承していきます。

平成19~22年度

- ・まち歩きワークショップの開催
- ・かわら版の発行などによるPR・情報発信



まちの魅力再発見ワークショップ「レトロな瑞穂区を探そう！」

熱田区

地域別計画

面積:8.16km² 人口:63,670人
世帯数:28,542世帯 人口密度:7,803人/km² (平成18年10月1日現在)



宮の渡し公園

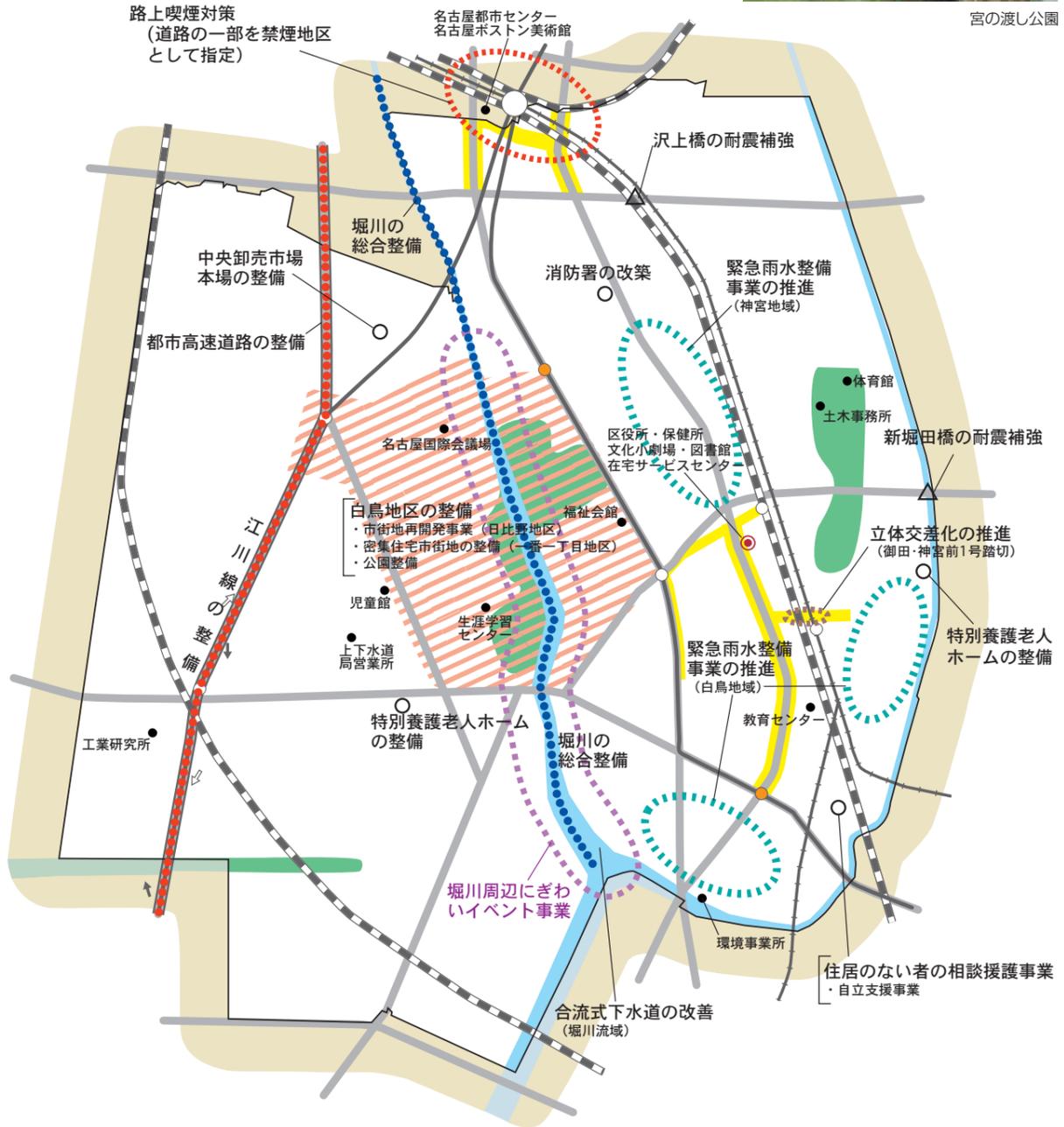
区のシンボルマーク



アツタの「ア」を図案化したもので、上部の矢先で区の発展を、下部の円形で区民の連帯と和を表しています。



区の花/ハナジョウブ 区の木/クロガネモチ



- 凡例
- 公園・緑地などの空間
 - 河川・ため池などの水面
 - 区役所
 - 駅
 - 主な施設
 - 民営鉄道 (J R)
 - 民営鉄道 (J Rを除く)
 - 地下鉄
 - 自動車専用道路 (事業中を含む)
 - 主な道路 (事業中を含む)
 - インターチェンジ・出入口 (白:入口、黒:出口)

■ : ポイ捨ての防止 (美化推進重点区域) ● : 公共交通機関におけるバリアフリー化の推進 (地下鉄駅) ※ 場所未定の事業: 福祉会館・児童館の移転改築

区の魅力づくり

熱田の歴史・文化の継承・発展事業

多くの歴史・文化資産の魅力を幅広く区民に紹介し、継承していくため、市民グループとの連携を深めるとともに、ボランティアの養成、支援を実施します。

平成19~22年度

- ・「熱田ぐるりんウォーキング」など区民との協働によるイベントや講座の開催
- ・史跡などの案内の充実



熱田ぐるりんウォーキング

堀川周辺にぎわいイベント事業

堀川周辺の散策路や公園などを有効に活用し、誰でも参加できる楽しいイベントを、区民との協働により実施し、環境に配慮した、にぎわいのあるまちづくりを促進します。

平成19~22年度

- ・「あつた堀川一斉清掃・子ども乗船体験と水質測定」などの開催
- ・堀川開削400年に向けた区民との協働事業の実施
- ・「熱田区区民まつり」などでの情報発信

あつたかまちづくりネットワーク事業

誰もがいきいきと安心して暮らせるまちをめざして、「あつたかまちづくり活動」の拡大をはかり、区民自身が地域のサポーターとなりうるまちづくりを促進します。

平成19~22年度

- ・「あつたかまちづくり専門委員会」による調査・意見交換
- ・学区広報紙の発行支援、編集委員交流会の開催
- ・「一人ひとりを大切にするコミュニティづくり」の支援

中川区

地域別計画

面積:32.01km² 人口:216,996人
世帯数:87,087世帯 人口密度:6,779人/km² (平成18年10月1日現在)



中川運河

区のシンボルマーク



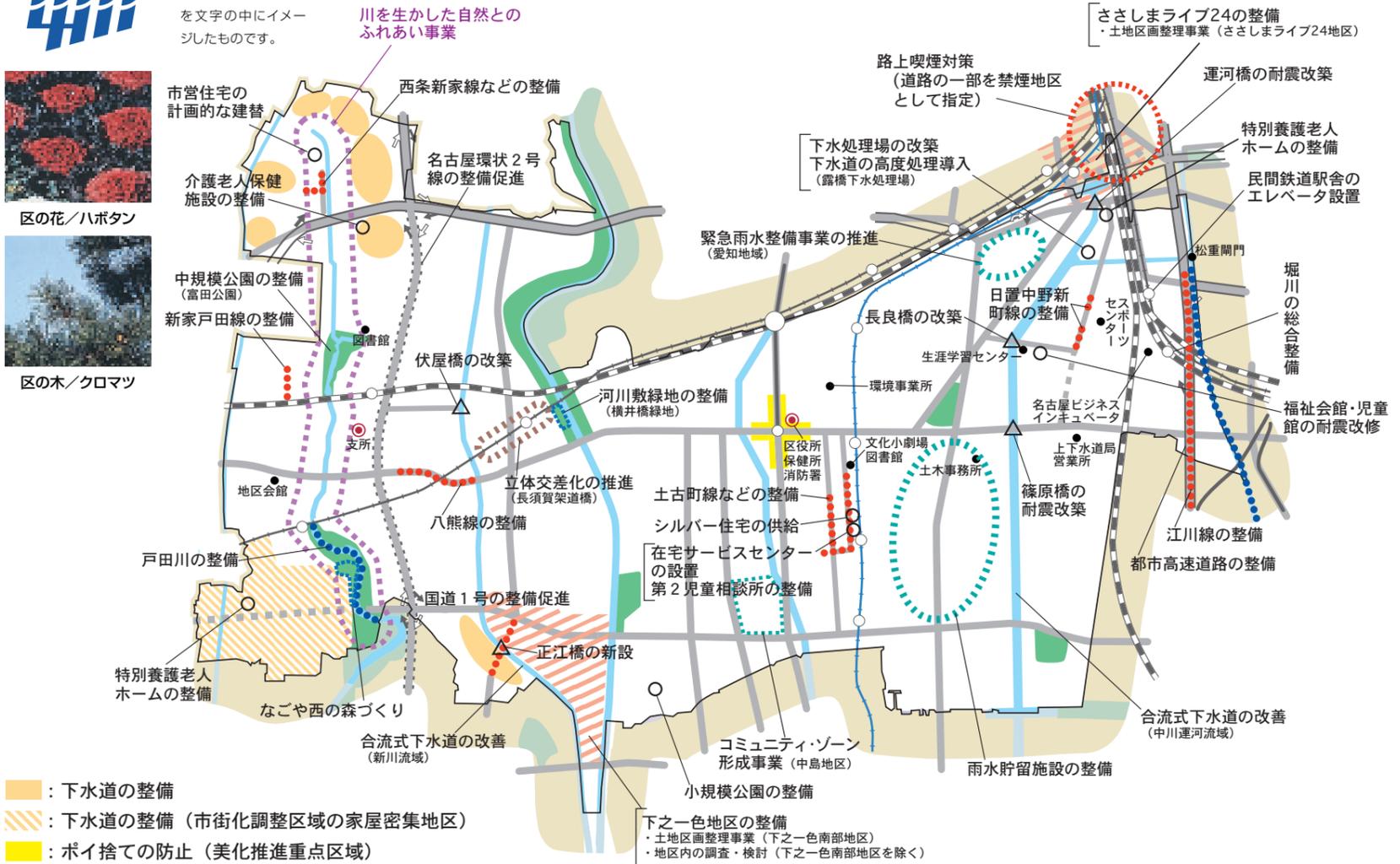
「中川」の文字を区の全形にデザインし、川が多い中川区の特徴を文字の中にイメージしたものです。



区の花/ハボタン



区の木/クロマツ



凡例			
	公園・緑地などの空間		自動車専用道路 (都市計画決定されている路線)
	河川・ため池などの水面		主要道路 (事業中を含む)
	区役所・支所		主要道路 (都市計画決定されている路線)
	駅		インターチェンジ・出入口 (白:入口, 黒:出口)
	主な施設		自動車専用道路 (事業中を含む)
	民営鉄道 (JR)		
	民営鉄道 (JR、あおなみ線を除く)		
	あおなみ線		
	地下鉄		

区の魅力づくり

川を生かした自然とのふれあい事業

区の景観を特色づけている川を生かしたまちづくりを、区民が主体となって企画・実践するとともに、身近な自然や川への愛着を多くの人に育んでもらうためのイベントなどを展開します。

平成19~22年度

- ・水辺の自然や魅力の発信
- ・川の水質浄化の啓発活動や美化活動の実施
- ・護岸に花を植えるなどの景観づくり

郷土の文化を明日に伝える・情報発信事業

前田利家ゆかりの地をめぐる「犬千代ルート」のウォーキングガイドをはじめ、区民が主体となって、区内の歴史的遺跡、文化財、伝統あるまつりなどのさまざまな魅力を内外に発信し、誇りと愛着の持てるまちをめざします。

平成19~22年度

- ・地域の魅力を生かした散策路「犬千代ルート」を活用したウォーキングイベントの実施
- ・「まちの魅力」に関する情報収集・情報発信

農業体験・ふれあい事業

農業が盛んな区の特徴を生かし、農業をテーマにした情報発信や農作物を育てる体験型イベントを展開することにより、人々のふれあいや交流を促進し、農業と自然を生かした魅力ある地域づくりをすすめます。

平成19~22年度

- ・区の特産品「ミツバ」などをテーマとした情報発信
- ・トウモロコシ、ネギづくりなどの農業体験事業の実施
- ・食育の推進



トウモロコシの収穫

港区

地域別計画

面積:45.67km² 人口:151,921人
世帯数:59,637世帯 人口密度:3,326人/km² (平成18年10月1日現在)



名古屋港

区のシンボルマーク



みなとの「み」と、カモメを組み合わせたもの。マリンドックの「み」の白いカモメの姿に同区の躍進のイメージを表現したものです。



区の花/ハイビスカス



区の木/クスノキ



区の木/サザンカ



- 凡例
- 公園・緑地などの空間
 - 河川・ため池などの水面
 - 区役所・支所
 - 駅
 - 主な施設
 - 民営鉄道(JR)
 - 民営鉄道(JR, あおなみ線を除く)
 - あおなみ線
 - 地下鉄
 - 自動車専用道路(事業中を含む)
 - 自動車専用道路(都市計画決定されている路線)
 - 主な道路(事業中を含む)
 - 主な道路(都市計画決定されている路線)
 - インターチェンジ・出入口(白:入口, 黒:出口)

- 黄色: 下水道の整備
- オレンジ: 下水道の整備(市街化調整区域の家屋密集地区、藤前地区)
- 赤: ポイ捨ての防止(美化推進重点区域)

区の魅力づくり

ガーデンふ頭界隈にぎわいづくり

ガーデンふ頭界隈が活気と魅力にあふれたまちとなるよう、アートを軸としたにぎわいづくりなどのまちづくり活動を支援します。また、海に親しみが持てるよう、ヨットが浮かぶ港の風景づくりを推進します。

平成19~22年度

- ・アートイベントの開催
- ・ヨット体験教室の支援
- ・港まちづくり協議会によるまちづくり事業の実施

港文化の発信事業

区内の文化が区民に親しまれ受け継がれていくよう、伝統芸能などのPRや文化活動団体の交流・活動支援を行うほか、「みなと魅力マップ」を生かした情報発信を行います。また、外国人の多いことを、区のひとつの特色として発信し、外国人市民と地域住民との相互理解、交流を促進していきます。

平成19~22年度

- ・「みなと文芸協会」の活動支援
- ・「みなと魅力マップ」を活用した事業の検討・実施
- ・多文化共生の推進とイベントの実施

ドレスアップ大作戦

学区ごとに「学区の花」を選定し、地域で育てることによりまちを美しく飾るとともに、区内の旧防潮堤などの壁面を活用した緑化、描画などにより地域のドレスアップをすすめます。

平成19~22年度

- ・学区の花選定・植栽事業 10学区
- ・旧防潮堤の修景



旧防潮堤に描画する子どもたち

南区

地域別計画

面積:18.47km² 人口:143,174人
世帯数:60,408世帯 人口密度:7,752人/km² (平成18年10月1日現在)

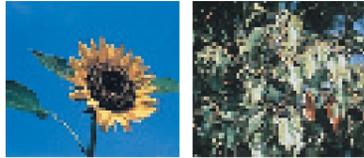


日本ガイシスポーツプラザ
(名古屋市総合体育館)

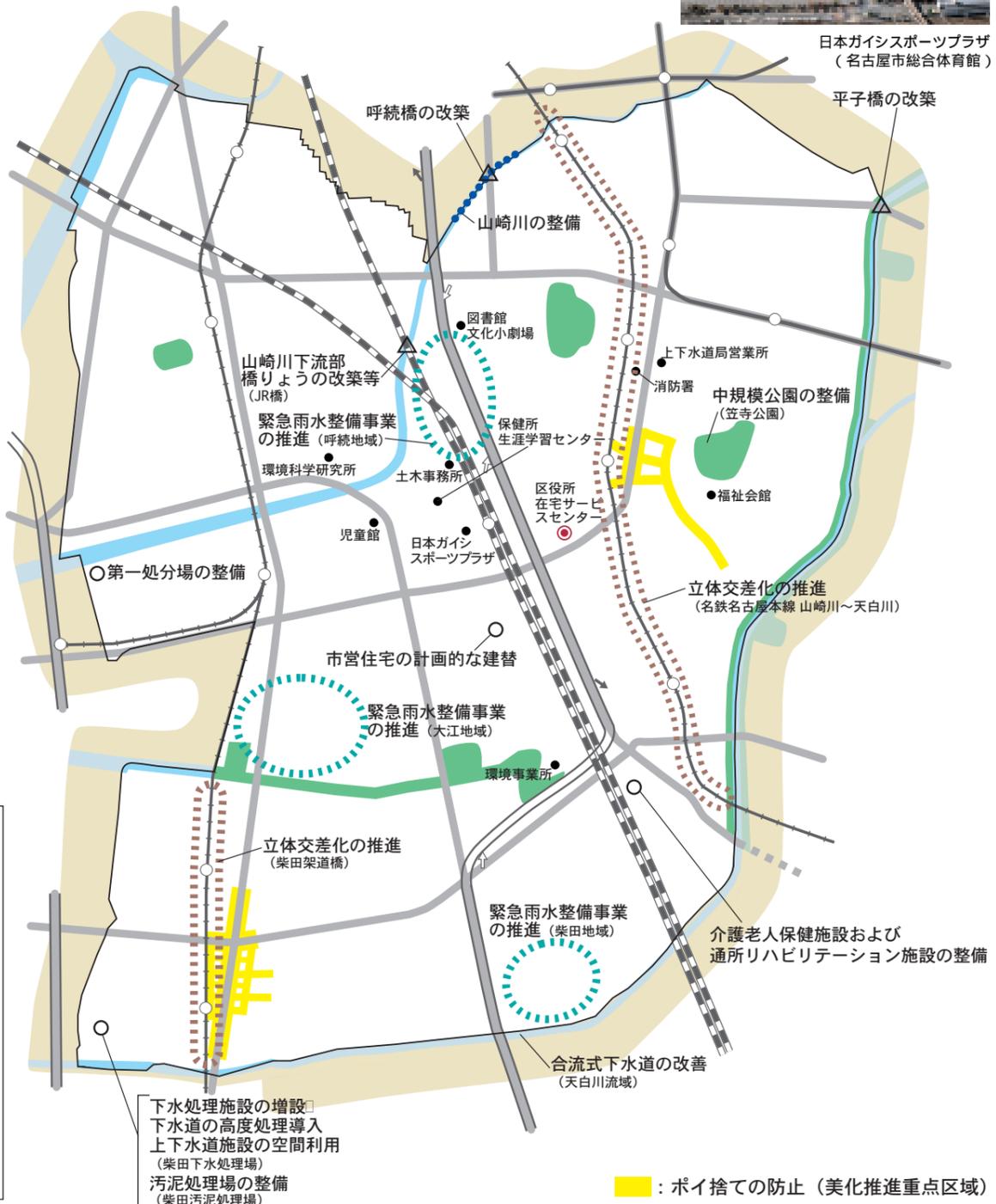
区のシンボルマーク



「莊子」の図南鷲翼の意からミナミの「ミ」を、調和・団結・発展の3本の白線が未来に向け飛翔する姿を表し、地色は南を表す朱色と区民の情熱を意味する真紅でデザインしました。



区の花/ひまわり 区の木/クスノキ



- 凡例
- 公園・緑地などの空間
 - 河川・ため池などの水面
 - 区役所
 - 駅
 - 主な施設
 - 民営鉄道(JR)
 - 民営鉄道(JRを除く)
 - 地下鉄
 - 自動車専用道路(事業中を含む)
 - 主な道路
 - 主な道路(都市計画決定されている路線)
 - インターチェンジ・出入口(白:入口、黒:出口)

区の魅力づくり

ものづくりのまち魅力発信事業

ものづくり文化をより地域に定着させるため、区内にあるすぐれたものづくりの技術や職人技を発見し、学校などと連携しながら広く情報発信するとともに、住民と企業の相互理解を深めます。

平成19～22年度

- ・ものづくり探検隊によるすぐれた技の発見、情報発信
- ・ものづくり体験イベントの実施
- ・魅力発見フェスティバルなど交流事業の実施



魅力発見フェスティバル

世代を越えた地域文化の継承事業

地域住民のつながりや世代間交流を深めるため、有形無形の歴史・文化資産を次世代に継承するとともに、地域文化の保存・継承活動を行う団体や個人と連携して交流事業や地域文化の記録づくりを実施します。

平成19～22年度

- ・歴史文化ふれあい事業の実施
- ・伝統文化の保存・継承のための支援

香りや色彩ゆたかなまちづくり事業

花や緑が持つ心地よい香りや鮮やかな色彩を活用した良好な生活環境をつくるため、四季折々に香りや色彩が楽しめるハーブなどの植物を地域の花壇や街路などに増やし、香りや色彩のネットワークを拡大します。

平成19～22年度

- ・香りや色彩ゆたかなまちづくりの会会員による交流事業の実施
- ・地域、学校、企業、行政による協働植栽活動の実施

守山区

地域別計画

面積:33.99km² 人口:162,044人
世帯数:62,775世帯 人口密度:4,767人/km² (平成18年10月1日現在)



冬の白沢渓谷

区のシンボルマーク



守山の頭文字「M」と、山を組み合わせた象形化したもので、外側の丸形の「M」が区民相互のふれあいの豊かさを表すとともに、全体で鳥が大空へ飛び出すように伸びゆく守山を表しています。



区の花/桔梗

区の木/どんぐり



公園・緑地などの空間	民営鉄道 (J R)	主な道路 (事業中を含む)
河川・ため池などの水面	民営鉄道 (J R を除く)	主な道路 (都市計画決定されている路線)
区役所・支所	地下鉄	インターチェンジ・出入口 (白:入口、黒:出口)
駅	ガイドウェイバスシステム志段味線 (ゆとりーとライン)	
主な施設	自動車専用道路	

区の魅力づくり

守山芸術文化振興事業

区内の伝統芸能や文化活動を受け継ぎ、育てる気運を高め、活動の輪を広げていくため、幅広い団体の参画を募り、区民の手づくりの守山文化祭を開催します。

平成19~22年度

- ・守山文化祭の開催
- ・守山文化祭を継続的に開催するための区民による組織づくり



守山文化祭の様子

守山自然ふれあいスクール事業

自然環境の保全や創出に対する区民の意識の高揚をめざし、区民が楽しく学びながら水辺や緑地を散策できる「自然ふれあいスクール」を開催します。

平成19~22年度

- ・自然環境保全活動団体の交流促進のための懇談会の開催および守山自然ふれあいスクールの実施
- ・観察会など自然環境保全活動団体の自主的な活動の支援
- ・区民参加による緑の保全と創出活動の促進

守山探検隊によるお宝発見事業

広く一般に知られていない区の魅力を発見するきっかけづくりとして、守山探検隊まちあるきイベントを実施するとともに、寄せられた区内の魅力(お宝)に関する情報を区の内外に発信します。

平成19~22年度

- ・公募による守山探検隊本部運営組織の設立
- ・区民による魅力発見企画・イベントの実施
- ・情報誌などの発行による区内の魅力の発信

緑区

地域別計画

面積:37.85km² 人口:219,276人
世帯数:81,712世帯 人口密度:5,793人/km² (平成18年10月1日現在)



有松の町並み

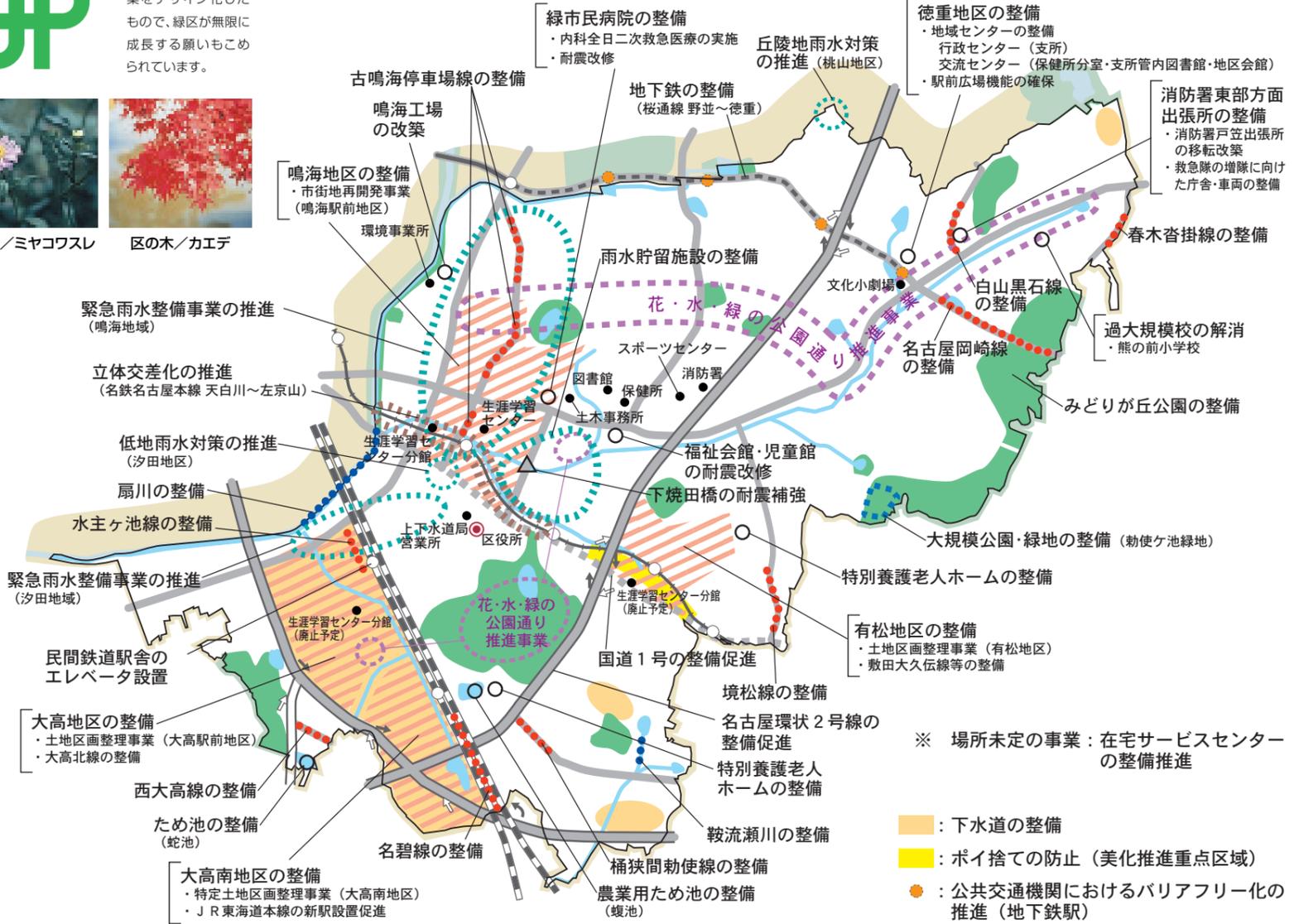
区のシンボルマーク



みどりの「み」と木の葉をデザイン化したもので、緑区が無限に成長する願いもこめられています。



区の花/ミヤコフスレ 区の木/カエデ



凡例

- 公園・緑地などの空間
- 河川・ため池などの水面
- 区役所
- 駅
- 主な施設
- 民営鉄道 (JR)
- 民営鉄道 (JRを除く)
- 地下鉄
- 地下鉄 (工事線)
- 自動車専用道路 (事業中を含む)
- 主な道路 (事業中を含む)
- 主な道路 (都市計画決定されている路線)
- インターチェンジ・出入口 (白:入口, 黒:出口)

区の魅力づくり

歴史文化交流支援事業

旧東海道の町並み、伝統産業など、区の豊かな歴史文化資源の収集・整理・保存・継承を、区民が主体となすすめます。また、各種イベントの開催やPR活動により、地域の活性化や区民の交流の輪の拡大をめざします。

平成19~22年度

- ・貴重な歴史的資料の調査・目録作成と適切な保管場所の確保・移設の検討
- ・郷土の歴史の価値を、子どもたちに継承するための事業を実施
- ・インターネット等を活用した区内外への活動発信の強化



史跡散策会(神話の道・水上姉子神社コース)

花・水・緑の公園通り推進事業

区内を東西方向に伸びる笠寺緑線を中心に「花・水・緑の公園通り」と位置づけ、沿線の民有地や公園の緑化をはかり、区民との協働のもと、緑の軸の形成をすすめます。また、区内各所での緑化活動や地域との連携をはかり、線から面へ、花と緑のまちづくりを推進します。

平成19~22年度

- ・「花・水・緑の公園通り」における花植え・緑化活動の継続、沿線地域への拡大
- ・区内各所における花と緑のまちづくり活動の支援
- ・「緑のパートナー」制度を生かした「花水緑の会」の自立化の促進

文化活動等情報発信事業

インターネットを利用して、区内で行われている各種活動の情報を収集・発信し、区民相互の交流や各種活動への参画を促進します。

平成19~22年度

- ・情報データベースにおける登録情報の量・質の向上
- ・区内の活動情報を積極的に収集・発信
- ・ホームページへのアクセス数を増加

名東区

地域別計画

面積: 19.42km² 人口: 157,754人
世帯数: 69,018世帯 人口密度: 8,123人/km² (平成18年10月1日現在)



猪高緑地 晩秋の棚田

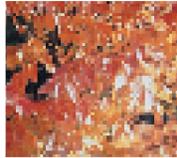
区のシンボルマーク



めいとうの「め」をデザインし、人の和と名古屋の東玄関として名古屋インターチェンジのイメージを盛り込んだものです。



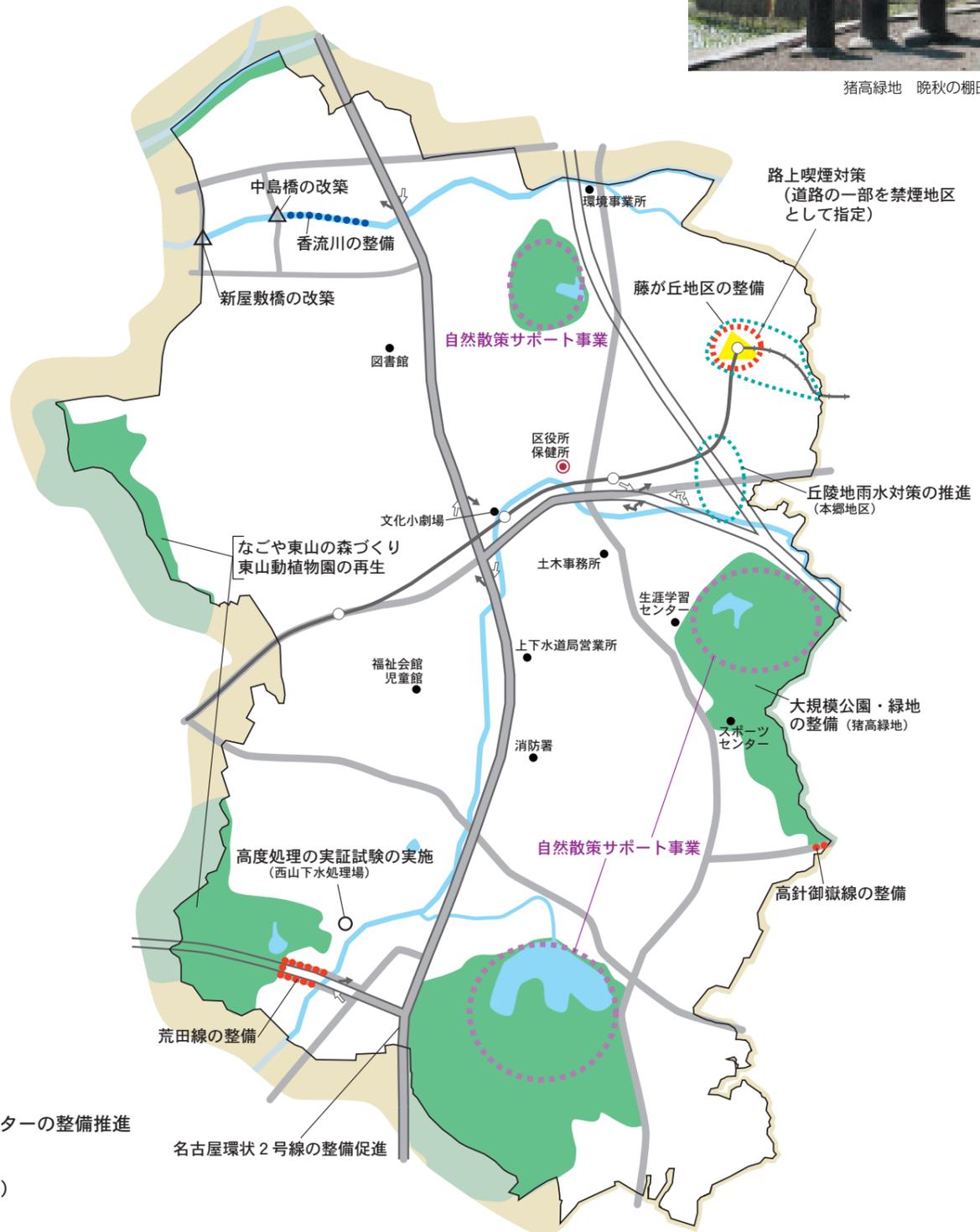
区の花/ナadeshiko



区の木/ケヤキ

凡例

- 公園・緑地などの空間
- 河川・ため池などの水面
- 区役所
- 駅
- 主な施設
- 民営鉄道 (JRを除く)
- 地下鉄
- 自動車専用道路 (事業中を含む)
- 主な道路 (事業中を含む)
- インターチェンジ・出入口 (白:入口、黒:出口)



※ 場所未定の事業: 在宅サービスセンターの整備推進

■: ポイ捨ての防止 (美化推進重点区域)

区の魅力づくり

いきいきライフ応援事業

文化・スポーツ活動が盛んであるという名東区の特徴を生かし、文化・スポーツや地域の情報を収集・発信し、区民の交流促進や余暇活動の充実をはかります。

平成19~22年度

- ・市ホームページの名東区のページにおいて名東区の文化・スポーツ・地域情報を充実

わいわいスタッフ育成事業

名東区の風物詩である、「名東の日」を中心としたイベントに積極的に関わることでできる住民(わいわいスタッフ)を育成し、住民主導で魅力あるイベントづくりを行うことにより、地域の活性化や住民相互の連帯感の促進をはかります。

平成19~22年度

- ・「名東の日」事業として実施する地域拠点方式の区民まつりなどの支援
- ・住民主導で企画されるまちづくりに関するイベントの支援(吹奏楽によるまちおこしなど)

自然散策サポート事業

区の豊かな自然環境を背景に自然観察や環境保全活動を行っている市民団体とともに、広く区民が名東区の豊かな自然に気軽に親しめる機会を創出します。

平成19~22年度

- ・自然散策会の開催
- ・自然散策サポーターのスキルアップをはかり、独自企画の自然環境イベントを実施



自然散策会

天白区

地域別計画

面積:21.62km² 人口:158,783人
世帯数:69,657世帯 人口密度:7,344人/km² (平成18年10月1日現在)



荒池緑地 二つ池

区のシンボルマーク



天白区の「て・ん」の二文字を組み合わせ、区民が、がっちりと手を組み、協力していく姿をデザイン化。中心のどがった形は、区の未来への発展を表現。色は緑豊かな天白区を表現しています。



区の花/マーガレット 区の木/キンモクセイ

景観計画等による良好な都市景観の形成
・都市景観整備地区の形成基準の見直し
(四谷・山手通地区)



凡例

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 公園・緑地などの空間 | 地下鉄 (工事線) |
| 河川・ため池などの水面 | 自動車専用道路 (事業中を含む) |
| 区役所 | 主な道路 (事業中を含む) |
| 駅 | 主な道路 (都市計画決定されている路線) |
| 主な施設 | インターチェンジ・出入口 (白:入口、黒:出口) |
| 地下鉄 | |

※ 場所未定の事業：在宅サービスセンターの整備推進

■ : ポイ捨ての防止 (美化推進重点区域)

● : 公共交通機関におけるバリアフリー化の推進 (地下鉄駅)

区の魅力づくり

市民参画による森づくり

区内の自然をフィールドとして活動している市民グループ10団体と行政機関の連携組織である、「天白・もりのフォーラム」の協力を得ながら、市民が身近な自然に目を向け、自ら育てていく意識を高めます。
また、荒池なごやかファームの整備について、「荒池ふるさとクラブ」を中心とした市民の主体的な活動を支援します。

平成19~22年度

- ・区内の森・水辺をテーマとした自然観察会・シンポジウムの実施、案内マップの発行
- ・荒池緑地における森づくりジュニアサポーター養成事業 (里山体験・自然観察)



天白・もりのフォーラム シンポジウム

特産品を生かした地域おこし事業

「梅」や「八事五寸ニンジン」といった区の特産農作物を生かしたイベントの開催などにより、地域の農業や地産地消、食育に対する関心と地域への愛着を育み、区の魅力向上や地域おこしを促進します。

平成19~22年度

- ・料理教室・収穫体験の開催、料理や加工方法の募集
- ・地域の団体や農業センター開催のイベントと連携した情報発信

文化ガイドボランティア事業

区の歴史・自然など、広く地域の魅力を発掘して区民に伝える人づくりやイベントを実施します。また区内の伝統芸能や特色ある文化についての人づくりを支援します。

平成19~22年度

- ・「史跡を歩こう会」など歴史・文化に関するイベントの開催
- ・ガイドボランティア団体「歴遊会」によるガイドの実施、マップ・情報誌の発行
- ・区内の伝統芸能や特色ある文化についての情報発信